

「GX戦略地域」制度公募に向けた 兵庫県の構想概要について

兵庫県 産業労働部

1 GX戦略地域制度 概要

「GX戦略地域制度」の創設

令和7年12月22日
GX実行会議：資料3から抜粋

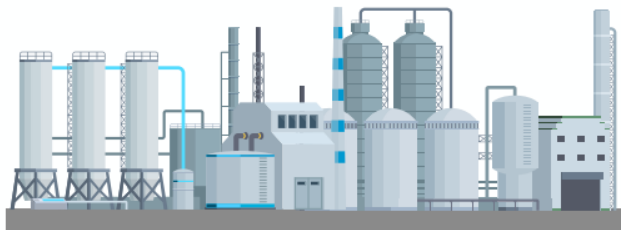
- 産業資源であるコンビナート跡地等や地域に偏在する脱炭素電源等を核に、「新たな産業クラスター」の創出を目指す「GX戦略地域制度」を創設する。
- ①～③類型では、自治体及び企業が計画を策定し、参画した上で、国が地域を選定し、支援と規制・制度改革（国家戦略特区制度とも連携）を一体的に措置する。④類型では、脱炭素電源を活用する事業者支援を行う。

「GX戦略地域制度」の類型

地域選定

① コンビナート等再生型

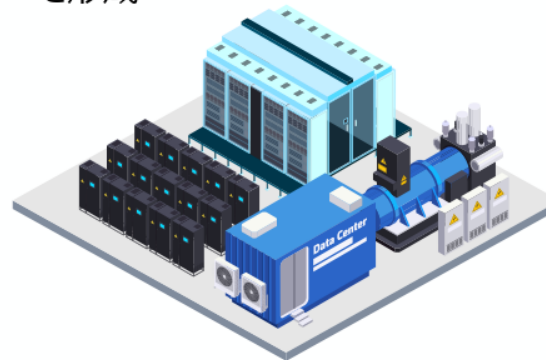
コンビナート跡地等を有効活用し、産業クラスターを形成



地域選定

② データセンター集積型

電力・通信インフラ整備の効率性を踏まえたDC集積及びそれを核とした産業クラスターを形成



地域選定

③ 脱炭素電源活用型 (GX産業団地)

脱炭素電源を活用した団地を整備し、当該電源を核とした産業クラスターを形成



事業者選定

④ 脱炭素電源地域貢献型

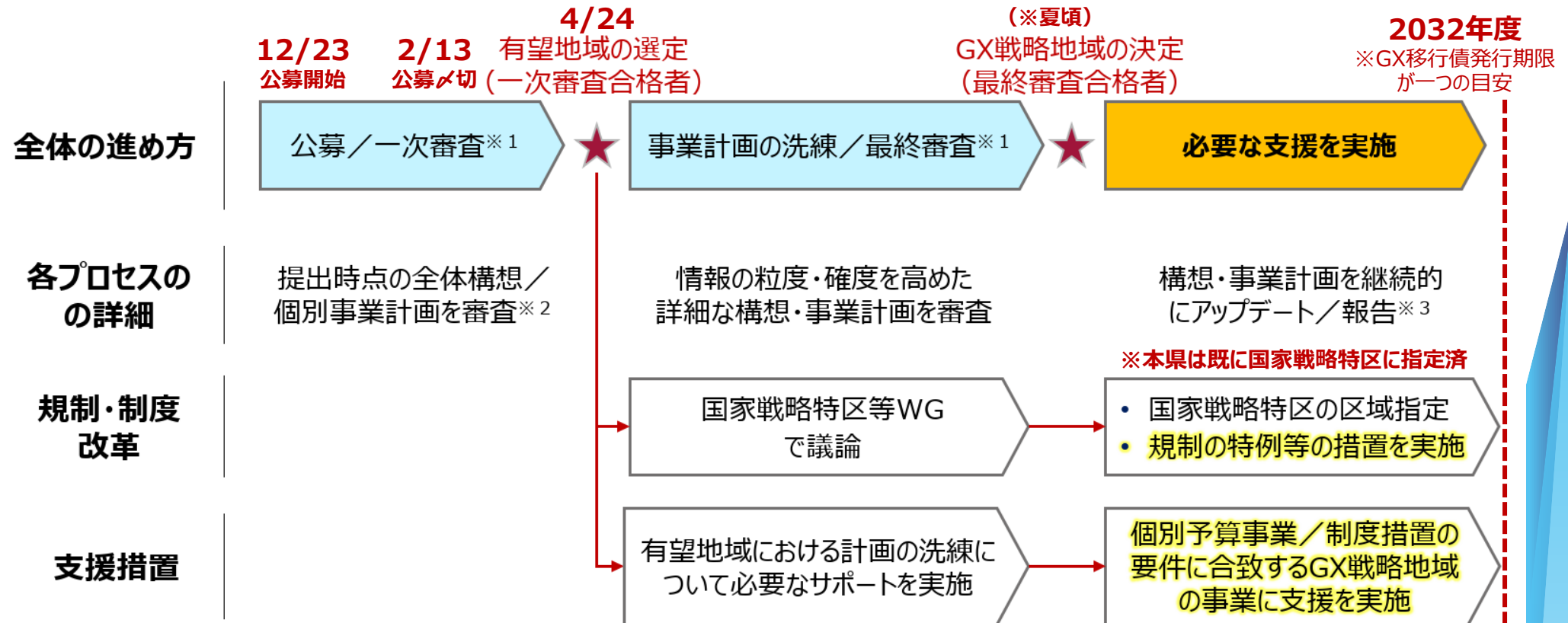
(脱炭素電源を活用し、当該電源の立地地域に貢献する事業者の設備投資を後押し)

1 GX戦略地域制度 概要

コンビナート等再生型の選定プロセス

令和7年12月22日
GX実行会議：資料3から抜粋・追記

- 公募時点では詳細計画策定まで困難なケースや、候補地具体化の中で潜在的ニーズが見えてくることもあるため、
- ①まず、提出時点での計画をもとに有望地域を選定し、
 - ②有望地域について、規制・制度改革措置の適用に係る検討を含め、事業計画の洗練サポートを行いつつ、最終的に「GX戦略地域」を選定し、個別予算事業／制度措置に基づく支援を実施する。



※1 外部有識者による審査委員会において審査

※2 希望する支援内容／規制・制度改革（申請主体が希望する場合）、資金調達計画、関連製品・技術・事業者等の競争力等をもとに審査

※3 明らかに計画の進捗が見られない場合は、選定を取り消すことを含めて検討する。

※4 選定単位：都道府県又は政令指定都市。申請を市区町村や民間事業者との連名（コンソーシアム等）で行うことも可。

1 GX戦略地域制度 概要

コンビナート等再生型における支援

令和7年12月22日
GX実行会議：資料3から抜粋

- 自治体等の強いコミットを前提として、「世界で勝てるGX産業拠点の形成」を目指す取組に対して、**インフラ整備や企業誘致、事業収益性の向上を大胆に支援**していく。

- 既存支援の活用 ● 新規支援
○ 公募申請の内容に応じて今後具体化

具体的な支援※1

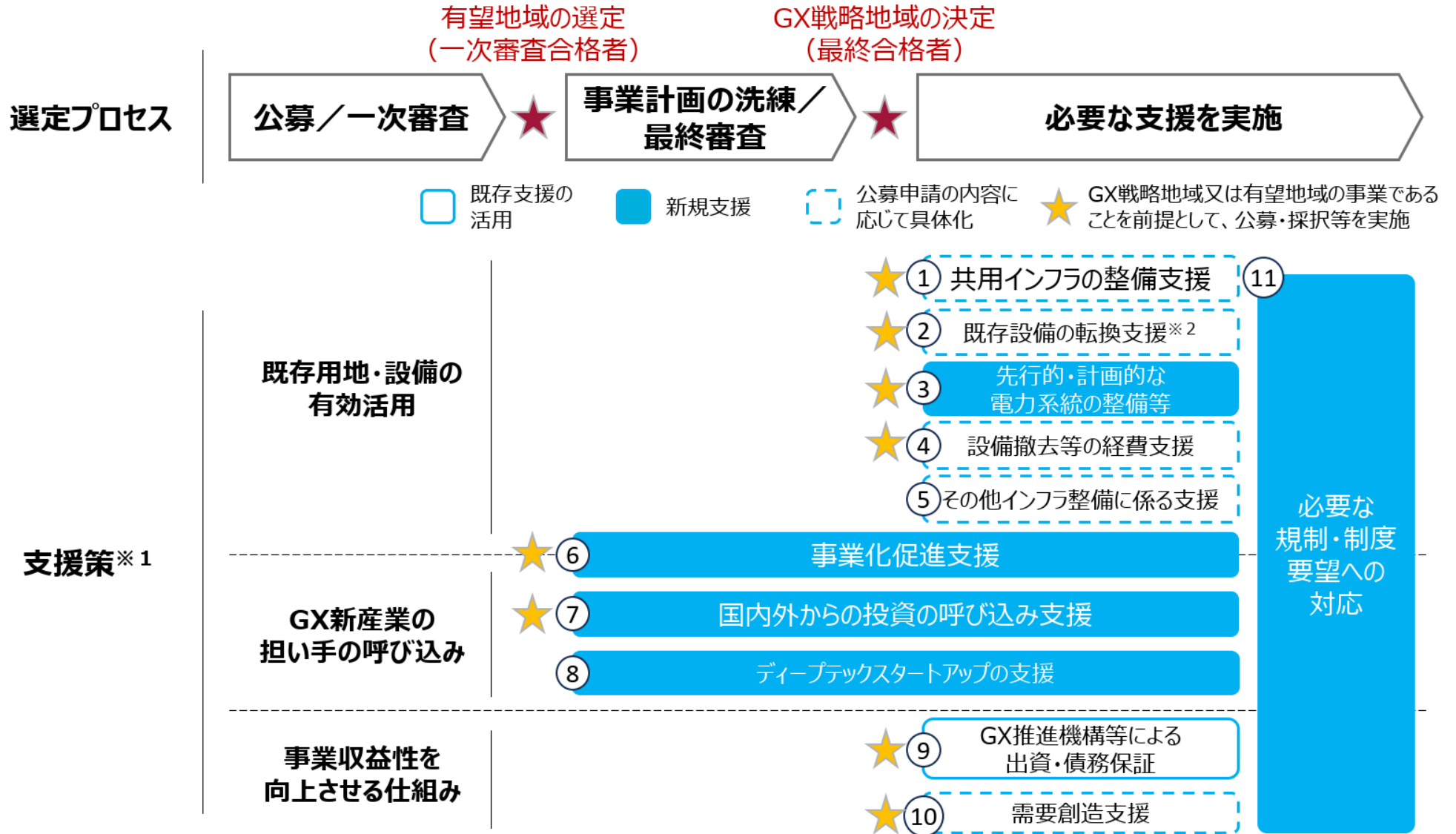
<p>既存用地・設備の有効活用を促進</p>	<p>① 共用インフラの整備支援</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 支援対象：共用インフラの建設に必要な経費（送電線、排熱設備、工業用水、パイプライン、耐荷重強化、断熱対策等） □ 支援要件：（Ⅰ）事業のGX性、（Ⅱ）当該設備の新事業創出への不可欠性、（Ⅲ）複数事業者の共用による公益性等 <p>② 既存設備の転換支援※2</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 支援対象：排出削減が困難な産業における製造プロセス転換、自家発電設備等の燃料転換に係る費用 □ 支援要件：産業競争力の強化に向けた企業トップのコミット、資本市場からの資金調達、一定割合以上の排出削減等 <p>③ 先行的・計画的な電力システムの整備</p> <p>真に必要な系統整備に対して、一般送配電事業者等への運転開始前の貸付け等を通じて、先行的・計画的に系統を整備</p> <p>④ 設備撤去等、用地転換の迅速化を促す支援</p> <p>当該地域の計画内容や、インパクト、経済性／実現可能性、支援の費用対効果等を十分に考慮した上で、今後具体化する</p> <p>⑤ その他インフラ整備に係る支援</p> <p>地域未来戦略本部を通じて各種インフラ整備に係る支援を議論</p>	<p>11</p> <p>必要な規制・制度要望への対応</p> <p>(国家戦略特区制度とも連携)</p>
<p>GX新産業の担い手の呼び込み</p>	<p>⑥ 事業化促進支援（補助率：1/2）</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 支援対象：インフラ整備の設計等に係る経費／事業計画の策定や、担い手呼び込みのLOI獲得に必要な経費等 □ 支援要件：当該事業のGX性等 <p>⑦ 国内外からの投資の呼び込み</p> <p>自治体及びコーディネーター等によるコミットを前提として、経済産業省、JETRO等がGX戦略地域への企業誘致をサポート</p> <p>⑧ ディープテックスタートアップの支援（①補助率：1/2）</p> <p>GX分野のスタートアップに対して、①大規模な事業開発の支援、②初期需要創造に向けた支援（予定）を講じる。</p>	
<p>事業収益性の向上を促進</p>	<p>⑨ GX推進機構等による出資・債務保証等の金融支援</p> <p>⑩ 価格低減を前提とした、真に競争力のある製品に対する需要創造支援</p> <p>当該地域の計画内容や、インパクト、経済性／実現可能性、支援の費用対効果等を十分に考慮した上で、今後具体化する</p>	

※1 予算編成の議論等を経て措置が確定することに留意、※2 排出削減が困難な産業におけるエネルギー・製造プロセス転換支援事業、※3 GX戦略地域に限らない支援も含まれていることに留意

1 GX戦略地域制度 概要

【参考】支援のタイミングについて

令和7年12月22日
GX実行会議：資料3から抜粋



※1 予算編成の議論等を経て措置が確定することに留意、

※2 GX戦略地域の事業における支援の在り方は、排出削減が困難な産業におけるエネルギー・製造プロセス転換支援事業での具体化を含め検討。なお、全国の事業者を対象とした既存支援（燃料転換・製造プロセス転換）は引き続き行う予定。

※3 GX戦略地域に限らない支援も含まれていることに留意

2 本県構想概要

“経済安全保障”×“エネルギー安全保障”×“イノベーション”の3軸をもとに、世界で勝てる産業横断のGX新産業クラスターを構築・拡張



先端素材等の革新的なGX新産業の育成

- 化石燃料由来の素材からグリーンで国内調達可能な素材利用へ切り替え
- 国内外で高いシェアと先端技術を有する素材産業等が、付加価値を高め、世界市場での競争力を強化
 - サステナ素材化学、鉄関連製品等の製造
 - 次世代エネルギー関連部材等の製造
 - 先端素材・部材系のスタートアップ など



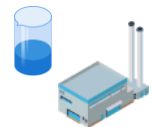
GX新産業を支えるクリーンエネルギーの安定供給

- 再エネ、水素、蓄電池といった多様なエネルギー関連インフラの構築で、産業活動の原動力を脱炭素エネルギーへ移行
 - 必要な共通インフラの地域横断での整備
 - 産業需要家による自家発の共用電源への転換
- 次世代エネルギー源の可能性検討
 - 国の方針に沿った技術開発への貢献



イノベーションによる相乗効果

- 共用イノベーション拠点等を活用したスタートアップの創出、育成
- 革新的な技術を持つスタートアップの誘致
- 既存企業との協働や近接立地によるスケールアップ
 - スタートアップと既存企業双方の競争力向上と産業高度化を実現



- ※ 申請主体は兵庫県。構想全体のコーディネーターを関西電力株式会社が担う
- ※ 参画企業、スタートアップ企業、金融機関、関係自治体・商工会議所、大学、産業支援機関等が一堂に会する「兵庫県GX戦略地域公募申請に向けた連絡会議」を令和8年2月6日に開催済

2 本県構想概要

産業・脱炭素両面の高いポテンシャルをもとに、経済安全保障を具現化する「GX新産業クラスター」の確立により、世界市場で優位性を発揮

